

第32期全国女性担当者会議に参加して

塩飽山の会 高寺千恵子

月 日：2016年6月25日(土)～26日(日)

場 所：日本勤労者山岳連盟（東京） 会議室

主 催：日本勤労者山岳連盟 女性委員会

参加者：全国地方連盟 32名、全国女性委員会 14名、合計 46名

香川出席者：横田峰子（観音寺あけぼの山の会）、高寺千恵子（塩飽山の会）

【6月25日 13：00～18：10】

◆全国連盟女性委員長 藤元理津子氏より基調報告

□活動報告・活動方針

- ・近年、労働条件の違いから働き方が複雑になっている。女性会員が生き生きできるよう女性会員にコミュニケーションしたい。
- ・2017年は労山女性委員会発足40周年となる。今後も女性にもできる搬出訓練・応急処置等取り組みたい。
- ・登山年齢は5年前は55才であったが現在は60才と高齢化が進んでいる。

◆全国連盟事務局長 川嶋高志氏より特別報告

□事故報告の現状と死亡事故から気が付いた点について

- ・2004年～2015年の12年間で3643名の事故。休みを除くと年間250日位
- ・事故のおこる時間帯は 11：00頃と14：00頃が多い。
- ・山行形態の多様化、岩登り、沢登りなど
- ・話を聞かない男、地図を読めない女
- ・道に迷ったら動かない（体力を消耗しない）
- ・もしもの時用の用意をしておく
- ・自分の力を過信しない
- ・努力が必要（地図読みなどのスキルアップ）
- ・登山に必要なことは、「知識」「技術」「経験」「体力」「装備」主体的でないとな身につかないことが多い
- ・事故を防ぐには、余裕のある計画と石橋をたたく判断が必要
- ・安全な登山に必要な力：想像力
- ・これから起きる出来事(変化する) 状況を常に予測する：応用力
- ・起きた出来事、変化した状況に的確に対応する
- ・じっとしていて助かるかどうかは組織にかかっている。会→県の救助隊→警察
- ・煙や音の出る物を持つ

◆女性委員会討論

- ・ 自立した登山への障害
- ・ 昔は子供のいる人が山へ行くのは隠れて行っていた
- ・ テーマを決める 花・カメラ・テント・岩。。。。
- ・ 愛知：料理レシピを作成し、男性も食事担当
- ・ 神奈川：女性委員を 20 年来作りたかった。来年やっとなんと作る予定
- ・ 和歌山：以前は女性委員があったが今はない
- ・ 山梨：なぜ女性？
- ・ 福岡：連れて行ってもらおう登山でもいいのではないかという意見もある
- ・ 岡山：女性が計画したファミリーハイクの実施
- ・ 岐阜：委員会の名前を「女子部」とか「山ガール」のような入会したくなるような魅力ある名前にしては。
- ・ 川嶋氏：意見を通すためには組織として女性委員は必要
オスプレイより保育園
- ・ 藤元氏：後に繋げることも女性委員会の役割である
- ・ 「女性委員会へようこそ 女性委員会ってなあに？」リーフレット作成予定
皆さんからの意見は？
⇒固すぎる。内容の修正点は？
各会の女性の取組みの写真・内容に対する意見を 8 月中に送ってほしい

【6月26日 8:30~12:00】

◆山筋ゴーゴー体操

- ・ 講習を受講してサーポーターとなろう
(試験と実技)
- ・ 大阪府連 川上氏：17名のうち12名がサーポーター
普段から山筋ゴーゴー体操を行い、講習会前には事前学習をする。
イベントで宣伝する。
冊子を常に用意している。
新入会員に配る。等の取組み
- ・ 講習会 1時間半~2時間。費用についての説明。
- ・ 女性は特に怪我が多い。
- ・ 男性にもお勧め。効果の確認は？効果が落ちた時に分かる。
- ・ 高齢者向けとしない。



女性担当者会議

◆全国集会 2017年9月予定

- ・第1回、1965年 高度成長期でレジャーブームであったが、リーダーになれそうな人が、次々辞めていく現実。いかにして山に登り続けられるか。家族との関わり。
- ・第6回 愛知 “いつまでも輝いていられるか” 子供ができて山へ行こう。登り続けるには「自立」が必要
- ・障害なく登れる！！となり担当者会議は今回をもって終了となった。第7回が秩父にて今から10年前にあった。
- ・2017年9月は場所をどこにするか。青森案、若しくは皆(若い人)が集まりやすい関東や近畿が良いのではないか。
- ・東北でも山行を兼ねて(主催は各会)なら行くのでは? 各県に意見照会。
- ・開催の主旨・目的は? 次世代に引き継ぐために。バトンタッチ。
- ・輝く努力。憧れられるくらいに。

◆まとめ

- ・2年に一度の担当者会議
- ・皆の声が活動の大きな力になる
- ・しおり(リーフレット)は固い。内容を詳しく。楽しい取り組みを載せたい。
- ・山筋のパンフを持って。サーポーターになりたいと思えるように。



懇親会

- ・全国集会は、総会・分科会を行う。
- ・歴史を語っていきたい。
- ・自立を目指す。
- ・情報交換の場である。
- ・女性の意見がなかなか県連に反映されない。
- ・若い人に前面に出て活動してほしい。